

G3 のツイッター その 57

烈剛河内 竹井 保満

日ロ平和条約締結に向けた外交交渉が始まっています。

72 年前に日ソ不可侵条約を一方的に破棄して、旧満州国や千島列島や樺太に武力侵攻し、在満の日本人に対して筆舌に尽くせない極悪非道を行いました。挙句の果てにインフラの設備を全部持ち帰ったソ連、日本の全面降伏の後に、兵士でない民間人や看護婦さんまで、57 万 5 千人を捕虜とし、国際捕虜規則を無視して極悪な環境で強制労働を強い、6 万人もの死者を出しました。このような嘘つきで、ずる賢い国を相手にどのような交渉が出来るのか危惧しながら見守っています。

今にして思えば、ロシアが金に困っていた頃に何兆円かで買い取る方法があったと思います。少し昔の話ですが、ロシアは 1850 年代のクリミア戦争の後遺症でお金に困っていました。ロシアがアメリカにアラスカを 720 万ドル現在のドルに換算して（1 億 2 千 300 万ドル）。2 セント / エーカーで売り渡してしまいました。毛皮の資源が枯渇した為との事ですが、その後のアタスカは黄金ラッシュや石油の採掘、豊富な森林や海産物はいくらのお金になるかは計り知れません。

また、ベルリンの壁は第二次世界大戦後、東ドイツとソ連とで西ベルリンとの往来を禁止するために作られたものですが、西ベルリンの市民によって突然叩き壊れたように話されています。この崩壊も西ベルリンの市民数人で壊されるようなものではなくて、水面下で色々な取引があつてのことです。その証拠に東ドイツからソ連軍が撤退する費用についても西ドイツが大金を支払っています。自然に壊れたわけではありません。第 2 次大戦後にソ連から独立した国が沢山あることも、このことを物語ります。ですから、金と時期と、上手な交渉で戻って来るはずですよ。

日ロ平和交渉の話はパワーワールドニュースに相応しくありませんが、民間人の私を、3 年に渡り、飢餓の生活を強いたことを考えると、尖閣諸島や竹島の事よりも大事なことだと思っています。北方領土は森林資源も海産物も豊富です。金を払っても必ず取り戻して欲しいと念願しています。

私も正月を迎えれば 91 歳。私の家系にはない 90 歳もこえました。日頃の運動と摂生の賜物と感謝して、気も新たに百歳を超えてもアスリートとして活躍できるように励みます。